

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート ☐ 新規 ☒ 継続
(事務・繰出金 組織運営 管理用)

Ⅰ 基本事項

事業名		教育振興事務		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名		教育部	学校教育課		款	教育費・10款
電 話		0799 - 37 - 3018			項	中学校費・3項
事業分類		<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	教育振興費・2目
事業分類		<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)		
南あわじ市総合計画 施策体系		まちづくりの柱		人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり		
		まちづくりの目標		一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】		
		施策目標		子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する		
該当する事業について「 」を選択		事務繰出			組織運営	管理

Ⅱ Plan (計画・事務内容)

事務又は管理の内容	目的	対 象 (誰を・どのような状況の人を)	
		市立全 6 中学校	対象人数(人) 1,380
		意 図 (どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市の教育方針である「ふれあい共生の人づくり」～ふるさとを愛し、たくましく生きる子どもをはぐくむ～	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
		1. ところの通いあう学校・園所づくりの推進 2. 「生きる力」の基礎となる確かな学力の育成 3. 命と人権を大切にする心の教育の充実	
事務又は管理の内容	(具体的に実施した事務又は管理の内容など)		
	教材の整備、生徒体力測定検査手数料、傷害保険掛金負担金、クラブ活動対外試合選手派遣等を行い教育の振興を図る		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 継続実施		

Ⅲ Do (活動内容、投入資源・コスト)

資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	直接事業費 (千円)	14,875	9,526	9,544	10,238	14,743
		14,875	9,526	9,544	10,238	14,743
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	14,875	9,526	9,544	10,238	14,743
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])	14,875	9,526	9,544	10,238	14,743
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	10,779.0	6,902.9	6,915.9	7,418.8	10,683.3
	経費に関する 補足説明					

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価、コスト分析)

事務又は管理経費		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	自己評価 (5点評価) 4				
	直接事業費対前年度比	%	-	64.0	100.2	107.3	144.0					
	(事務又は管理経費に係る問題点・課題等) 新学習指導要領の改訂に伴う副読本や教材の購入が必要となっている。											
人件費		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	自己評価 (5点評価) 3				
	人件費対前年度比	%	-	-	-	-	-					
	(人件費に係る問題点・課題等)											
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 児童・生徒数は微減の方向であるが、必要な教材は増えている。また、学習指導要領の改訂に伴う、必要な教材備品があるが最小限の抑えたい。											
	<div>評価グラフ</div> <table><thead><tr><th>項目</th><th>評価</th></tr></thead><tbody><tr><td>直接事務費</td><td>4</td></tr><tr><td>人件費</td><td>3</td></tr></tbody></table>							項目	評価	直接事務費	4	人件費
項目	評価											
直接事務費	4											
人件費	3											

V Action&Plan (改善の内容)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し
	<p>主に市立中学校における教材の整備、生徒の体力測定検査、傷害保険掛金負担金、クラブ活動対外試合選手派遣等を行っているもので、平成22年度は、学校側と協議をしながら経費節減に努めつつ、新学習指導要領の本格実施に向けての準備を予定している。</p>	<p>同左。</p>
具体的な改善方法 (現状維持以外の場合)	事務又は管理経費に関すること	事務又は管理経費に関すること
	人件費に関すること	人件費に関すること